

10BASE-T LANカード LPC2-T

ユーザーズマニュアル

ご使用になる前に	1
本製品の取り付け	2
Windows98/95 環境での設定	3
困ったときは	4
用語集	5
付録	6

このたびは、LPC2-Tをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本書は、LPC2-Tの取り扱いかたと、ドライバのインストール手順について説明しています。LANカードを正しくお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください。

使用上のお願い

本製品は精密機器です。正しいご使用のために、本書を必ずお読みください。パソコンの故障/トラブルまたは、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障/トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。

本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。

本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

本書では™、®、©などのマークは記載していません。

本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。

本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

また、本製品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記にかかわらず弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するとき、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

また弊社は、本製品に関して海外での保守および技術サポートは行っておりません。

本製品のうち、外国為替および外国貿易管理法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

安全にお使いいただくために必ずお守りください



お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。




パソコンの故障 / トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障 / トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

	は、警告・注意を促す記号です。 の近くに具体的な警告内容が描かれています。(例: ⚠ 感電注意)
	に斜線は、してはいけない事項(禁止事項)を示す記号です。の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。(例: ① 分解禁止)
	は、しなければならない行為を示す記号です。の近くに、具体的な指示内容が描かれています。(例: ② 電源プラグをコンセントから抜く)

警告



強制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。



分解禁止

本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。
火災や感電の恐れがあります。



電源プラグを
抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチを OFF にし、AC コンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。



電源プラグを
抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源スイッチをOFFにして、電源プラグを抜いてください。
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

注意



禁止

濡れた手で本製品に触れないでください。
パソコンおよび周辺機器の電源プラグがAC コンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、AC コンセントに接続されていなくても本製品の故障の原因となります。



強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失・破損させる恐れがあります。



強制

ハードディスク内のデータは、必ず他のメディア（フロッピーディスク、MOディスク等）にバックアップしてください。

とくに、修復・再現できない重要なデータは、オリジナルの更新前・更新後と、常に二重のバックアップを作成されることをおすすめします。以下のような場合に、データは消失・破損する恐れがあります。

- ・ 誤った使い方をしたとき
- ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- ・ 故障、修理などのとき
- ・ パソコンの電源 OFF 直後に、すぐに電源を入れたとき
- ・ 長時間使っていなかったために電池が自然放電したとき
- ・ 天災による被害を受けたとき

上記の場合、またその他いかなる場合でも、データが消失・破損したことによる損害について弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

目次

1 ご使用になる前に 5

本書の使い方.....	5
本製品の概要	6
パッケージ内容・各部の名称とはたらき	7
セットアップの流れ.....	8

2 本製品の取り付け 9

本製品を取り付ける前に	10
本製品の取り付け	13

3 Windows98/95 環境での設定 16

ドライバのインストール.....	16
インストール後の確認	28
本製品の取り外し	31
ドライバの削除.....	32
ネットワークの設定例.....	34
他のパソコンとの接続.....	41

4 困ったときは 42

5 用語集 49

6 付録 54

製品仕様	54
ランプ仕様	55
モジュラコネクタ仕様.....	55

1

ご使用になる前に

本製品をお使いになる前に知っておいていただきたいことを説明します。
必ずお読みください。

本書の使い方

本書を正しくお使いいただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク

▲注意 製品の取り扱いにあたって注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与えるおそれがあります。

メモマーク

■メモ 製品の取り扱いに関する補足事項、知っておくべき事項です。

参照マーク

▶参照 関連のある項目のページを記しています。

次へマーク

▼次へ 次にどのページへ進めばよいかを記しています。

コラムマーク



このマークがついている説明文は、知っていると便利な知識について説明しています。

文中の用語表記

- ・文中 [] で囲んだ名称は、操作の際に選択するメニュー、ボタン、テキストボックス、チェックボックスなどの名称を表わしています。
- ・文中 『 』 で囲んだ名称は、ソフトウェアやダイアログボックスの名称を表わしています。
- ・本書では原則として LPC2-T を本製品と表記しています。

1

ご使用になる前に

本製品の概要

本製品の特長、動作環境について説明します。

特長

本製品は、PC カードスロット (TYPE) を装備したパソコンに取り付けて使用する LAN カードです。

主な特長は、次の通りです。

- 10BASE-T (IEEE802.3) 規格準拠
- RJ-45 モジュラコネクタ用ポート装備 (1 ポート)

動作環境

対応機種

PC カードスロット (TYPE) を装備した DOS/V 機または、NEC 製 PC98-NX シリーズおよび PC-9821 シリーズ。ただし、NEC 製 PC-9821Ne および EPSON 製 98 互換機には対応していません。

対応 OS

- Windows98/95
- WindowsCE H/PC Pro3.0(WindowsCE2.11)
- WindowsNT4.0/3.51
- WindowsCE2.0
- NetWare4.1J/3.12J クライアント

メモ 下線部はWindowsCE Handheld PC Professional Edition Version3.0の略です。
NetWare4.1J/3.12J クライアントをお使いの場合は、以下の DOS をお使いください。

- MS-DOS 5.0/V 以降、MS-DOS 5.0A 以降、PC DOS 5.0/V 以降

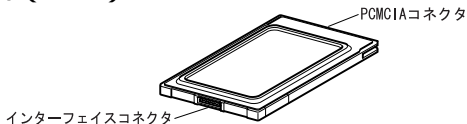
メモ

- WindowsNT4.0 をお使いの方は「LAN Card ユーティリティ」内の「WINNT40.TXT」を参照してインストールしてください。
- WindowsNT3.51 をお使いの方は「LAN Card ユーティリティ」内「WINNT351.TXT」を参照してインストールしてください。
- NetWare4.1J/3.12J をお使いの方は「LAN Card ユーティリティ」内の「NETWARE.TXT」「PCMCIA.TXT」「LANCHK.TXT」を参照してインストールしてください。
- WindowsCE をお使いの方は「LAN Card ユーティリティ」内の「WINCE.TXT」を参照してインストールしてください。

パッケージ内容・各部の名称とはたらき

パッケージには、次のものが梱包されています。万が一、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

LAN カード (LPC2-T) 1 個



△注意 コネクタは絶対に手をふれないでください、故障の原因となります。

メディアケーブル 1 個



名 称	はたらき
TX/RX ランプ	ネットワークにデータが流れているときに点灯します。他のパソコン同士の通信時も点灯します。
LINK ランプ	リンク時点灯します。

LAN Card ユーティリティディスク (3.5 インチ) 1 枚

ユーザーズマニュアル (本書) 1 冊

ユーザー登録はがき、保証書 1 枚

メモ

- ・ ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項をご記入のうえ、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。
- ・ 別紙で追加情報が同梱されているときは、必ず参照してください。

添付ディスクのバックアップ

安全のために、製品に添付されている「LAN Card ユーティリティ」は、必ずバックアップを作成し、実際の作業はバックアップしたディスクを使用するようにしてください。

1

ご使用になる前に

セットアップの流れ

本製品をネットワークに接続する手順を説明します。全体の流れを理解してください。

セットアップの前に本書をよくお読みください

1 パッケージの内容を確認する ページ 7

2 ユーザー登録カードを送付する

3 本製品の取り付け ページ 13

4 LANケーブルを接続する ページ 14

5 環境に合わせてドライバをインストールする

Windows98/95 ページ16

WindowsNT4.0

LAN Cardユーティリティ内にある「WINNT40.TXT」を参照してください。

WindowsNT3.51

LAN Cardユーティリティ内にある「WINNT351.TXT」を参照してください。

WindowsCE

LAN Cardユーティリティ内にある「WINCE.TXT」を参照してください。

Windows3.1/DOS

NetWare4.1Jクライアント/NetWare3.12Jクライアントをお使いのかたは
LAN Cardユーティリティ内にある「PCMC1A.TXT」、「NETWARE.TXT」、「LANCHK.TXT」
を参照してください。

設定がうまくできないときは困ったときはを参照 ページ 42

セットアップ完了

2

本製品の取り付け

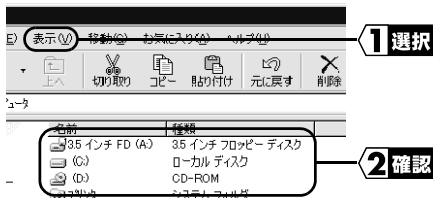
本製品をパソコンに取り付ける手順を説明します。Windows98/95 を使用されているかたは、本製品を取り付ける前に、32 ビット PC カードライバの確認が必要になります。



ドライブ構成について

ドライバをインストールする前に、ドライブ構成を次の手順で確認してください。Windows98 を例に説明します。

- 1 『マイコンピュータ』をダブルクリックします。
- 2 [表示]メニューから[詳細]を選択します。



ここで表示されるドライブ名を確認します。
表示された各ドライブ名は、以降の手順で必要になりますので、メモしておいてください。

(例) ドライブ構成が以下の場合の画面例

- A: フロッピーディスクドライブ
- C: ハードディスクドライブ
- D: CD-ROM ドライブ

次へ

Windows98/95 の場合

「本製品を取り付ける前に」(P10)へ進みます。

WindowsNT4.0/NT3.51/NetWare4.1J/3.12J クライアントの場合

「本製品の取り付け」(P13)へ進みます。

WindowsCE の場合

LAN Card ユーティリティ内にある「WINCE.TXT」を参照してください。

本製品を取り付ける前に

Windows98/95 を使用されているかたは、本製品を取り付ける前に、必ず、32ビット PC カードドライバが正常にインストールされていることを確認してください。

メモ

- ・ PC98-NXシリーズをお使いのかたは、「32ビットPCカードドライバの確認」(P10)を行う前に「NEC 製 PC98-NX シリーズをお使いのかたへ」(P12)を参照して、アドバンスモードに設定してください。
- ・ 東芝 Libretto をお使いのかたは、「ドライバのインストール」(P16)を行う前に「東芝 Libretto をお使いのかたへ」(P12)を参照して、必要なファイルをあらかじめハードディスクにコピーしてください。

32 ビット PC カードドライバの確認

本製品を使用するためには、パソコンに PC カードドライバが正しくインストールされている必要があります。本製品をパソコンに取り付ける前に、次の手順に従って PC カードドライバの設定を確認してください。

PC98-NX シリーズを使用しているときは、操作を行う前に「CyberTrio-NX」をアドバンスモードに変更します。「NEC 製 PC98-NX シリーズをお使いのかたへ」(P12)を参照してください。

- 1 デスクトップ画面の[マイ コンピュータ]アイコンにマウスのカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。
- 2 表示されたメニューから[プロパティ(R)]を選択します。

- 3 [デバイス マネージャ] タブをクリックします。[PCMCIA ソケット]の「+」をクリックします。[PCMCIA ソケット]の中に表示されるアイコンに×や!が付いていないか確認します。(表示される PCMCIA コントローラーの名称は、パソコンの機種によって異なります。)



×や!が付いていないとき
PC カードドライバは正しく設定されています。

×や!が付いているとき

次の手順で PC カードドライバの設定を変更してください。

×や!が付いている PCMCIA コントローラをダブルクリックします。[PC カード(PCMCIA) ウィザード] が起動します。

「PC カード (PCMCIA) ウィザードへようこそ。(以下略)」というメッセージが表示されます。[はい(Y)] を選択し、[次へ >] ボタンをクリックします。

「リアルモード PC カードドライバは見つかりませんでした。(以下略)」というメッセージが表示されます。[はい(Y)] を選択し、[次へ >] ボタンをクリックします。

「PC カードウィザードが完了しました。」というメッセージが表示されます。[完了] ボタンをクリックします。

Windows98 では、以上で設定の変更は完了です。もう一度 [デバイス マネージャ] を開き、[PCMCIA controller] に×や!が付いていないか確認してください。


Windows95 では、続いて「この PC カードの設定を続けるには、Windows を終了し、コンピュータの電源を切ってください。(以下略)」というメッセージが表示されます。[はい(Y)] ボタンをクリックします。

Windows を再起動したら、もう一度 [デバイス マネージャ] を開き、[PCMCIA controller] に×や!が付いていないか確認してください。

正常にインストールできないときは、パソコンのマニュアルを参照するか、パソコンのメーカーにお問い合わせください。


NEC 製 PC98-NX シリーズをお使いのかたへ

「CyberTrio-NX」がインストールされている機種では、「CyberTrio-NX」をアドバンスモード以外のモードで使用していると、本製品のドライバが正常にインストールできないことがあります。ドライバをインストールする前に、アドバンスモードに変更してください。

「CyberTrio-NX」がインストールされているパソコンでは、タスクバーに「CyberTrio-NX」のインジケータが表示されます。

CyberTrio-NX とは

パソコンを使う人ごとに、Windows98/95 の動作範囲やアクセスできるフォルダを限定するための機能です。詳しくは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

 **次へ** 「32ビット PC カードドライバの確認」(P10) の手順 1 へ進みます。

東芝 Libretto をお使いのかたへ

Libretto ではフロッピーディスクドライブと本製品を同時に使用できないため、ドライバをインストールする前に次の作業を行ってください。

パソコンにフロッピーディスクドライブを取り付けます。


フロッピーディスクドライブに「LAN Card ユーティリティ」ディスクを挿入します。

「LAN Card ユーティリティ」の中にある次のファイルを、ハードディスクに新規作成したディレクトリ (例: ¥LPC2) の中にコピーします。

LPC2.SYS

NETLPC2.INF

インストール中に「LAN Card ユーティリティ」ディスクを要求されたときは、上記の手順 でファイルをコピーしたディレクトリ (フォルダ) を指定してください。

 **次へ** 「本製品の取り付け」(P13) へ進みます。

本製品の取り付け

パソコンによって本製品の取り付け位置が異なります。必ずパソコンのマニュアルを参照し、各メーカーの定める手順に従って取り付けを行ってください。また、ネットワークを確実に動作させるためには、適切なケーブルを正しく接続する必要があります。ここでは、本製品、メディアカブラ、パソコン、ケーブルの接続方法を例に説明します。ストレートケーブルは別売品です。

▲注意 パワーマネジメント（未使用状態が一定時間続くとパソコンの電源供給を停止する）機能がついているパソコンの場合は、パワーマネジメント機能の設定を OFF にしてください。パワーマネジメント機能が働くと、本製品が使用できません。

取り付け時の注意事項

本製品とメディアカブラを接続する時の注意

- 本製品とメディアカブラ（本製品付属）を接続するときは、奥までしっかりと差し込んでください。
- 接続には必ず本製品付属のメディアカブラを使用してください。他製品のメディアカブラを接続すると本製品が故障する恐れがあります。
- メディアカブラを本製品から取り外すときは、コネクタの両側の金具を押さえながら取り外してください。金具を押さえずに無理にメディアカブラを取り外すと、本製品やメディアカブラが破損する恐れがあります。

ケーブル接続時の注意

本製品は、ストレートケーブルとハブを使用して接続することを推奨します。

本製品を取り外す時の注意

本製品は、パソコンの電源を ON にした状態で本製品の抜き差しが行える「活線挿抜」に対応しています（Windows98/95のみ）。但し、本製品を取り外すときは Windows98/95 上で取り外しができる状態にする必要があります。本製品を取り外す場合は「本製品の取り外し」（P31）を参照してください。

2

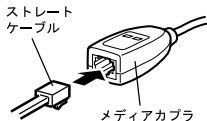
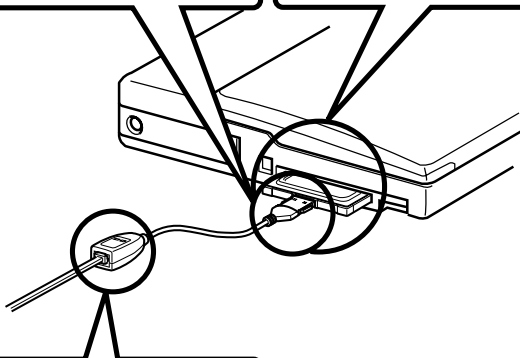
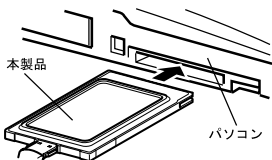
本製品の取り付け

次頁へ続く

- 1** 本製品に付属のメディアカブラを取り付けます。
付属のメディアカブラを本製品に真っ直ぐ接続します。コネクタの向きに注意してください。



- 2** パソコンに、本製品を取り付けます。
本製品をパソコンのPCカードスロットに挿入します。取り付け方法については、パソコン添付のマニュアルを参照してください。



- 3** ストレートケーブルのモジュラジャックをメディアカブラのモジュラコネクタに差し込みます。
「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。

メモ Windows98/95をお使いの方は、パソコンの電源がONの状態でのままで本製品を取り付けることが可能です。

注意

- ケーブルを付けたまま、パソコンを移動させないように注意してください。
- メディアカブラのコネクタに無理な力が加わらないようにしてください。メディアカブラが破損する原因となります。



Windows98/95をお使いのかたは

「Windows98/95 環境での設定」(P16)へ進みます。

WindowsNT4.0をお使いのかたは

「LAN Cardユーティリティ」ディスク内の「WINNT40.TXT」ファイルを参照してください。

WindowsNT3.51をお使いのかたは

「LAN Cardユーティリティ」ディスク内の「WINNT351.TXT」ファイルを参照してください。

WindowsCEをお使いのかたは

「LAN Card ユーティリティ」ディスク内の「WINCE.TXT」ファイルを参照してください。

NetWare4.1J/3.12Jクライアントをお使いのかたは

「LAN Card ユーティリティ」ディスク内の「PCMCIA.TXT」、「NETWARE.TXT」、
「LANCHK.TXT」ファイルを参照してください。

3

Windows98/95 環境での設定

ご使用の環境が Windows98/95 の場合は、以下の手順に従って、本製品の設定を行ってください。

ドライバのインストール

△注意 ドライバのインストールを行う前に、パソコンに本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。

Windows98 をお使いの方は、

「Windows98 の場合」(P16) を参照してください。

Windows95 をお使いの方は、

「Windows95 の場合」(P20) を参照してください。

☑メモ パソコンの電源が OFF になっているときは、電源を ON にしてください。

Windows98 の場合

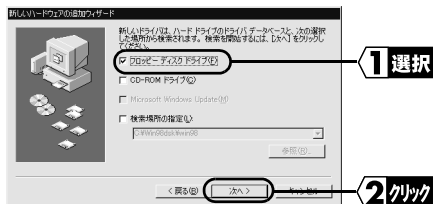
- 1 パソコンに本製品が正しく取り付けられると、次の画面が表示されます。
[次へ] をクリックします。



△注意 画面が表示されないときは、第 4 章 困ったときはの「インストール画面が表示されない。」(P43) を参照してください。

- 2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 3 「LAN Card コーティリティ for LPC2-T」をフロッピードライブに挿入します。

4 「フロッピーディスクドライブ」を選択し、[次へ] をクリックします。



5 [次へ] をクリックします。



▶ 「LAN Card ユーティリティ for LPC2-T」を要求されたときは、次の手順を行ってください。

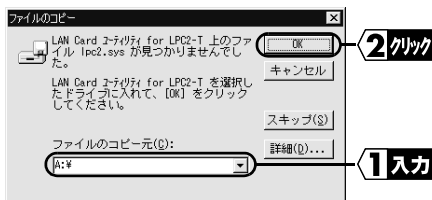
[OK] をクリックします。



メモ 「Ipc2.sys が
見つかりませんでした」と
表示されます。

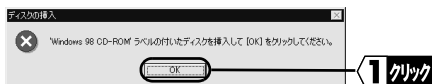
次頁へ続く

「ファイルのコピー元」に「A:¥」（フロッピードライブがAドライブの場合）を入力し、[OK] をクリックします。

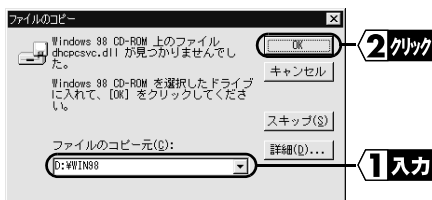


- ▶ Windows98 の CD-ROM を要求する画面が表示される場合があります。そのときは、次の手順を行ってから、手順 6 に進んでください。

Windows98 の CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入し、[OK] をクリックします。



「ファイルのコピー元」に「D:¥WIN98」（CD-ROMドライブがDドライブの場合）を入力し、[OK] をクリックします。



■メモ PC-9821 シリーズをお使いのかたは、「D:¥WIN98N」（CD-ROMドライブがDドライブの場合）を入力してください。

6 [完了]をクリックします。



7 「LAN Cardユーティリティ for LPC2-T」をフロッピードライブから取り出します。

8 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、[はい]をクリックします。

9 パソコンが再起動されます。

10 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK]をクリックします。



ドライバのインストールは完了です。

続いて本製品が正常に動作していることを確認します。

メモ

再起動後に、「この DHCP クライアントは DHCP サーバ から IP ネットワークアドレスを取得できませんでした」と表示される場合は、次の手順で設定を変更してください。

- ・ TCP/IP プロトコルを使用しない場合
「いいえ」をクリックします。
- ・ TCP/IP プロトコルを使用する場合
ネットワーク管理者に相談の上、IP アドレスの設定を行ってください。

次へ 「インストール後の確認」(P28) へ進みます。

Windows95 の場合

Windows95 のバージョンにより表示される画面が異なります。
Windows95 が起動したときに表示される画面に従ってください。

『デバイスドライバウィザード』画面が表示された場合



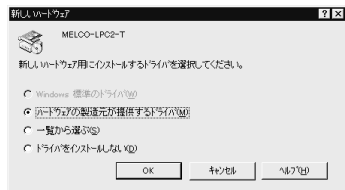
Windows95 のバージョンは次のいずれかです。

4.00.950 B 4.00.950 C

次へ ドライバのインストールの「『デバイスドライバウィザード』画面の場合 (Windows95 のバージョンが 4.00.950 B/4.00.950 C)」(P21) へ進みます。

注意 画面が表示されないときは、第 4 章 困ったときはの「インストール画面が表示されない。」(P43) を参照してください。

『新しいハードウェア』画面が表示された場合



Windows95 のバージョンは次のいずれかです。

4.00.950 4.00.950a

次へ ドライバのインストールの「『新しいハードウェア』画面の場合 (Windows95 のバージョンが 4.00.950/4.00.950a)」(P25) へ進みます。

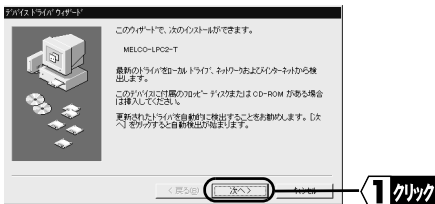
注意 画面が表示されないときは、第 4 章 困ったときはの「インストール画面が表示されない。」(P43) を参照してください。

『デバイスドライバウザード』画面の場合

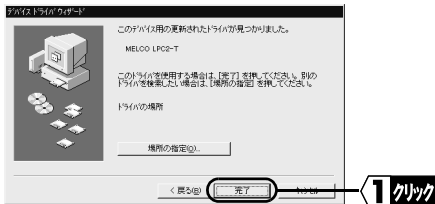
(Windows95 のバージョンが 4.00.950 B/4.00.950 C)

1 「LAN Cardユーティリティ for LPC2-T」をフロッピードライブに挿入します。

2 [次へ] をクリックします。

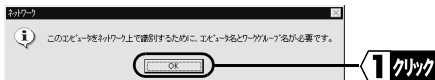


3 [完了] をクリックします。



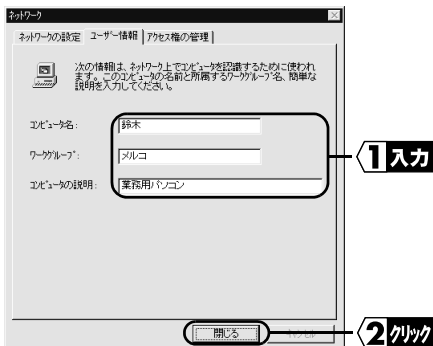
▶ 「デバイスドライバウザード」画面で [完了] をクリックすると、「コンピュータ名とワークグループ名が必要です。」と表示される場合があります。そのときは、次の手順を行ってから、手順 4 に進んでください。

[OK] をクリックします。



次頁へ続く

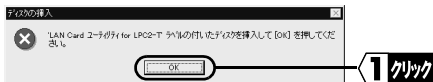
[コンピュータ名]、[ワークグループ]、および [コンピュータの説明] を入力し、[閉じる] をクリックします。



▶参照 [コンピュータ名]、[ワークグループ]、[コンピュータの説明]の詳細説明については、第5章用語集の「Windows98の識別情報 (Windows95の場合はユーザー情報)画面」(P52)を参照してください。

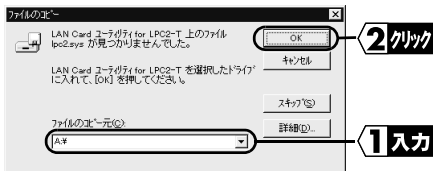
▶「LAN Card ユーティリティ for LPC2-T」を要求されたときは、次の手順を行ってください。

[OK] をクリックします。



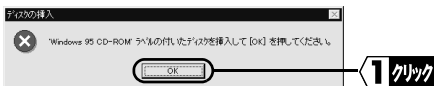
■メモ 「lpc2.sys」が見つかりませんでした」と表示されます。

「ファイルのローテーション」に表示されている「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」を「A:¥」(フロッピードライブがAドライブの場合)に変更し、[OK] をクリックします。

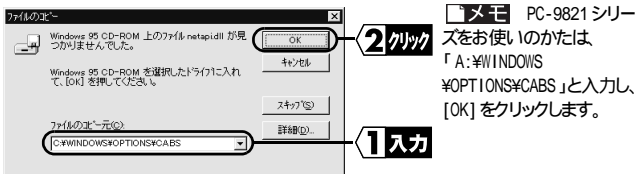


- ▶ Windows95 の CD-ROM を要求する画面が表示される場合があります。そのときは、次の手順を行ってから、手順 6 に進んでください。

[OK] をクリックします。



「ファイルのローダー」に表示されている「A:¥」を「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」(Windows95 が C ドライブにインストールされている場合)に変更し、[OK] をクリックします。



メモ PC-9821 シリーズをお使いのかたは、「A:¥WINDOWS ¥OPTIONS¥CABS」と入力し、[OK] をクリックします。

3

Windows98/95 環境での設定

- 4 ファイルのコピーが開始されます。

メモ ファイルのコピー途中に「ファイルのバージョン競合」画面が数回表示される場合があります。そのときは、「現在のファイルをそのまま使いますか?」と尋ねてきますので、「はい」をクリックしてください。

- 5 「LAN Cardユーティリティ for LPC2-T」をフロッピードライブから取り出します。

- 6 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、[はい] をクリックします。

- 7 Windows95 が再起動します。

次頁へ続く

8 「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックします。



ドライバのインストールは完了です。

続いて本製品が正常に動作していることを確認します。



再起動後に、「この DHCP クライアントは DHCP サーバ から IP ネットワークアドレスを取得できませんでした。」と表示される場合は、次の手順で設定を変更してください。

- ・ TCP/IP プロトコルを使用しない場合
「いいえ」をクリックします。
- ・ TCP/IP プロトコルを使用する場合
ネットワーク管理者に相談の上、IP アドレスの設定を行ってください。

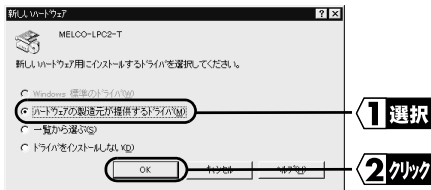


「インストール後の確認」(P28) へ進みます。

『新しいハードウェア』画面の場合

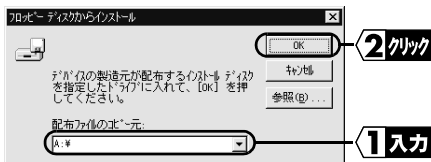
(Windows95 のバージョンが 4.00.950/4.00.950a)

- 1 [ハードウェアの製造元が提供するドライバ] を選択し、[OK] をクリックします。



- 2 「LAN Card ユーティリティ for LPC2-T」をフロッピードライブに挿入します。

- 3 「A:¥」(フロッピードライブが Aドライブの場合)を入力し、[OK] をクリックします。



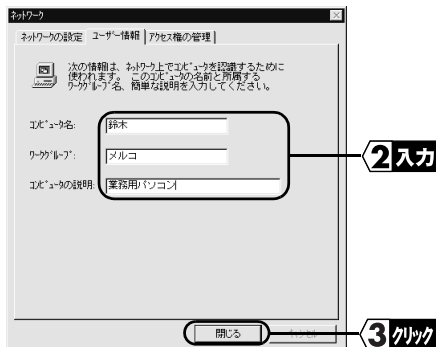
- ▶ 「フロッピーディスクからインストール」画面で [OK] をクリックすると、「コンピュータ名とワークグループ名が必要です。」と表示される場合があります。そのときは、次の手順を行ってから、手順 4 に進んでください。

[OK] をクリックします。



次頁へ続く

[コンピュータ名]、[ワークグループ]、[コンピュータの説明]を入力し、[閉じる]をクリックします。

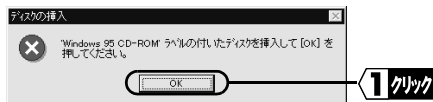


▶参照 [コンピュータ名]、[ワークグループ]、[コンピュータの説明]の詳細説明については、第5章用語集の「Windows98の識別情報 (Windows95の場合はユーザー情報)画面」(P52)を参照してください。

4 Windows95のCD-ROMまたはフロッピーディスクを挿入するようメッセージが表示されます。

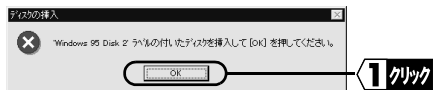
CD-ROMの場合

Windows95のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入し、[OK]をクリックします。



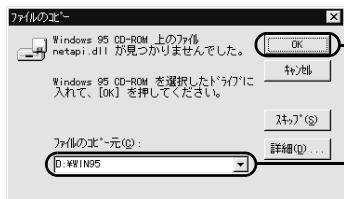
フロッピーディスクの場合

指定されたフロッピーディスクをフロッピードライブに挿入し、[OK]をクリックします。



■メモ フロッピーディスクの場合は各画面の指示に従ってフロッピーディスクを挿入してください。

- 5 [ファイルの北°元] に表示されている「A:¥」を「D:¥WIN95」(CD-ROMドライブが Dドライブの場合)に変更し、[OK] をクリックします。



メモ プリインストールモデルで、CD-ROMドライブが搭載されていないパソコンをお使いのかたは、「C:¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」(Windows95 が CDドライブにインストールされている場合)を入力してください。

- 6 CD-ROM からファイルがコピーされます。

- 7 コピーが終了してから、「LAN Card ユーティリティ for LPC2-T」をフロッピードライブから取り出します。

- 8 「今すぐ再起動しますか?」と表示されたら、[はい] をクリックし、Windows95 を再起動します。

- 9 「ユーザ - 名」と「パスワード」を入力し、[OK] をクリックします。



ドライバのインストールは完了です。

続いて本製品が正常に動作していることを確認します。

メモ

再起動後に、「この DHCP クライアントは DHCP サーバ から IP ネットワークアドレスを取得できませんでした」と表示される場合は、次の手順で設定を変更してください。

- ・ TCP/IP プロトコルを使用しない場合
「いいえ」をクリックします。
- ・ TCP/IP プロトコルを使用する場合
ネットワーク管理者に相談の上、IP アドレスの設定を行ってください。

- 次へ** 「インストール後の確認」(P28) へ進みます。

インストール後の確認

ドライバのインストールが完了したら、次の手順に従って、本製品が正常に動作していることを確認してください。

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [システム] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [デバイスマネージャ] タブをクリックします。「MELCO LPC2-T」を選択し、[プロパティ] をクリックします。



メモ

- 表示されていないときは、「ネットワークアダプタ」の左の「+」をクリックすると表示されます。
- 「その他のデバイス」に、「PCMCIA カードサービス」が入る場合がありますが、正常です。

4 [デバイスの状態] 欄に「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていれば、本製品は正常に動作しています。



メモ

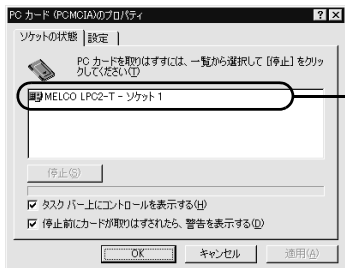
- ・「ドライバ」タブをクリックすると、Windows95 (4.00.950 B/C) の場合は、「このデバイスにはドライバファイルが必要でないか、または読み込まれていません。」と表示されますが、正常です。
- ・バージョンが4.00.950/aのWindows95では「ドライバ」タブは表示されません。

注意 「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されないときは、本製品が正常に動作していません。第4章 困ったときはの「インストール画面が表示されない。」(P43)を参照して、ドライバを削除し、再インストールしてください。

5 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。

6 [コントロールパネル] 内の [PC カード (PCMCIA)] アイコンをダブルクリックします。

7 [ソケットの状態] 欄に「MELCO LPC2-T」と表示されていれば、本製品は正常に動作しています。



注意 表示されないときは、本製品が正常に動作していません。「インストール画面が表示されない。」(P43)を参照して、ドライバを削除し、再インストールしてください。

次へ

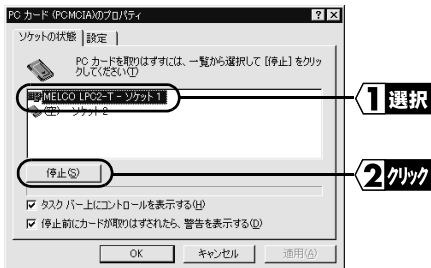
本製品が正常に動作している場合:「ネットワークの設定例」(P34)へ進みます。

本製品が正常に動作していない場合:「インストール画面が表示されない。」(P43)へ進みます。

本製品の取り外し

Windows98/95 の動作中に、本製品を取り外すときは、以下の手順に従ってください。

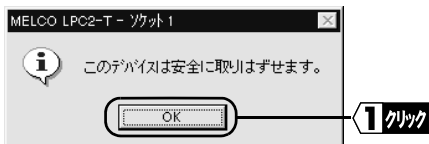
- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [PC カード (PCMCIA)] アイコンをダブルクリックします。
- 3 「MELCO LPC2-T」を選択し、Windows98 の場合は [停止] (Windows95 の場合は [終了]) をクリックします。



3

Windows98/95 環境での設定

- 4 しばらくして、「このデバイスは安全に取りはずせません。」のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。




- 5 本製品を取り外します。

ドライバの削除

ドライバを削除するときは、以下の手順に従ってください。

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [システム] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [デバイスマネージャ] タブをクリックします。
- 4 [MELCO LPC2-T] を選択し、[削除] をクリックします。



 **メモ** 表示されていないときは、「ネットワークアダプタ」の左の「+」をクリックすると表示されます。



MAC アドレスを確認するには

TCP/IP プロトコルがインストールされている場合は、以下の手順で MAC アドレスの確認ができます。

- 1 [スタート]-[ファイル名を指定して実行] を選択します。
- 2 [WINIPCFG.EXE] と入力し、[OK] をクリックします。
『IP 設定』ダイアログボックスが表示されます。
- 3 「MELCO LPC2-T Adapter」を選択します。MAC アドレスは、「アダプタアドレス」に表示されています。



ネットワークの設定例

本製品が正常に動作していることを確認したら、ネットワークに接続するための準備をします。

例として Windows98 の画面を使用しています。接続するパソコンの設定を行う際の参考にしてください。

▶ **参照** 詳しくは Windows98/95 に添付のファーストステップガイドを参照してください。

全てのパソコンについて以下の設定が必要になります。

- ・「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」の確認
- ・「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加
- ・コンピュータ名・ワークグループの確認
- ・パソコンの共有設定

「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」の確認

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [ネットワーク] ダイアログボックスの [現在のネットワーク構成] に、「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーク クライアント」が表示されていることを確認します。
また、Windows98 をお使いのかたは、「優先的にログオンするネットワーク」が「Microsoft ネットワーククライアント」になっていることを確認します。

組み込まれているネットワークアダプタが本製品だけの場合



組み込まれているネットワークアダプタが複数の場合



[現在のネットワークコンポーネント] 欄に、「NetBEUI -> MELCO LPC2-T」と表示されますが、正常です。

▲注意 表示されていないとき

「Microsoft ネットワーククライアント」の追加方法 (P39)、「NetBEUI」の追加方法 (P40)、を参照して Microsoft ネットワーククライアント、NetBEUI を追加してください。

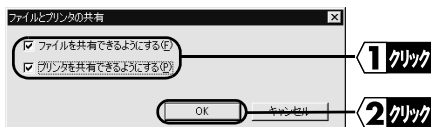
▶次へ 「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加 (P36) へ進みます。

「Microsoft ネットワーク共有サービス」の追加

1 [ファイルとプリンタの共有] をクリックします。



2 [ファイルを共有できるようにする] および [プリンタを共有できるようにする] のチェックボックスをクリックして ON にし、[OK] をクリックします。



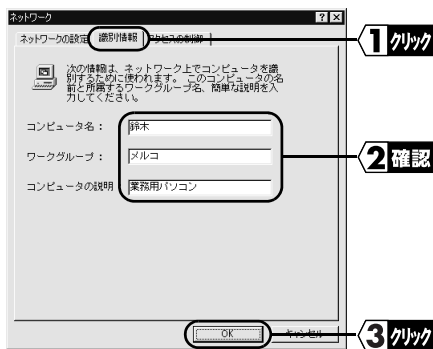
3 [Microsoft ネットワーク共有サービス] が追加されます。



次へ 「コンピュータ名・ワークグループの確認」(P37) へ進みます。

コンピュータ名・ワークグループの確認

- 1 [識別情報] タブ (Windows95 の場合は、「ユーザー情報」タブ) をクリックして、[コンピュータ名]、[ワークグループ]、および [コンピュータの説明] を確認し、[OK] をクリックします。



▲注意 ワークグループ名は、ネットワークで接続する全てのパソコンに同じ名前を設定してください。

▶参照 [コンピュータ名]、[ワークグループ]、[コンピュータの説明] の詳細説明については、第5章 用語集の「Windows98の識別情報 (Windows95の場合はユーザー情報) 画面」(P52)を参照してください。

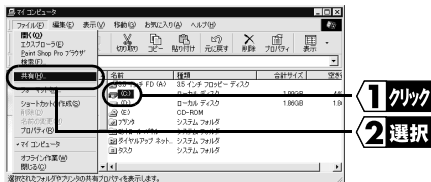
- 2 「今すぐ再起動しますか?」と表示されますので、[はい] をクリックします。

▶次へ 「パソコンの共有設定」(P38)へ進みます。

パソコンの共有設定

ドライブやフォルダの共有を設定します。ここでは、[マイ コンピュータ] の中の C ドライブを共有するときの手順を例に説明します。

- 1 デスクトップ上の [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。
- 2 Cドライブのアイコンをクリックし、[ファイル]-[共有] を選択します。



- 3 [共有する] のオプションボタンをクリックし、「共有名」「コメント」「アクセス権の種類」「パスワード」を確認または変更し、[OK] をクリックします。



▶参照 「共有名」、「コメント」、「アクセス権の種類」、「パスワード」の詳細説明については、第5章用語集の「Windows98の識別情報 (Windows95の場合はユーザー情報) 画面」(P52) を参照してください。

- 4 Cドライブのアイコンが画面のようになります。



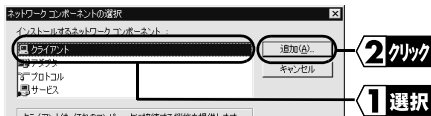
▶次へ 「他のパソコンとの接続」(P41) へ進みます。

「Microsoft ネットワーククライアント」の追加方法

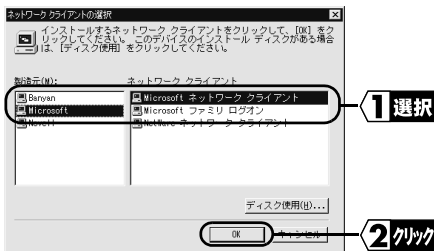
- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [追加] をクリックします。



- 4 [クライアント] を選択し、[追加] をクリックします。



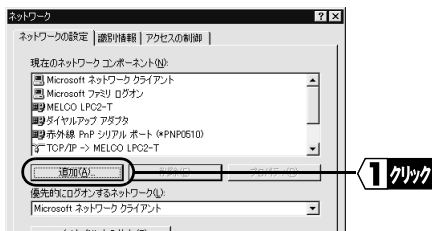
- 5 [製造元] に「Microsoft」を、[ネットワーククライアント] に「Microsoft ネットワーククライアント」を選択し、[OK] をクリックすると、手順 3 の画面に戻ります。



次へ 「NetBEUI」、「Microsoft ネットワーククライアント」の確認 (P34) へ進みます。

「NetBEUI」の追加方法

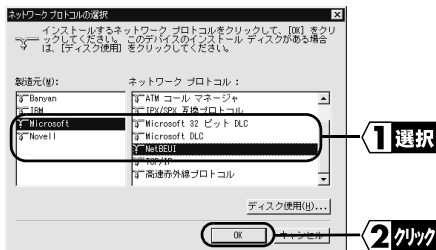
- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択します。
- 2 [コントロールパネル] 内の [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [追加] をクリックします。



- 4 [プロトコル] を選択し、[追加] をクリックします。



- 5 [製造元] に「Microsoft」を、[ネットワークプロトコル] に「NetBEUI」を選択し、[OK] をクリックすると、手順 3 の画面に戻ります。

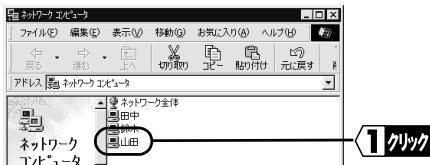


次へ 「NetBEUI」、Microsoft ネットワーククライアントの確認」(P34) へ進みます。

他のパソコンとの接続

ネットワークへの接続が完了したら、接続したいパソコンと実際に接続してみましょう。Windows98 の画面を用いて説明します。

- 1 デスクトップ上の [ネットワーク コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。Peer to Peer 接続されているパソコンが表示されます。
- 2 接続したいパソコンをダブルクリックします。



▶参照 接続したいパソコンが表示されないときは、第4章 困ったときはの「インストール画面が表示されない。」(P43)を参照してください。

- 3 「パソコンの共有設定」(P38)で、設定されたドライブが表示されます。接続したいドライブをダブルクリックします。



- 4 ドライブの中身が表示され、アクセスが可能になります。



本製品を装着したパソコンから、LAN ネットワーク上のパソコンへの接続が完了しました。ネットワークを利用した快適な環境でパソコンをお使いください。

4

困ったときは

本製品を使用して発生する現象とその原因、対策方法について説明します。

本製品がパソコンに認識されません。

原因

本製品がパソコンの PC カードスロットに確実に差し込まれていない。

対策

本製品の向きを確認して、差し込み直してください。

原因

パソコンの PC カードスロットが故障している。

対策

- ・パソコンの PC カードスロットを 2 つ装備しているパソコンをお使いのかたは、もう一方のスロットに差し込んでください。
- ・他にパソコンをお持ちの場合は、他のパソコンの PC カードスロットに差し込んで確認してください。

本製品が正常に動作しない。

原因

ご使用のパソコンのパワーマネージメント機能が動作している。

対策

パワーマネージメント機能の設定を OFF にしてください。
詳細については、パソコンのマニュアルを参照してください。

インストール画面が表示されない。

Windows98/95 環境で、本製品を装着後にパソコンを起動しても、ドライバのインストール画面が自動的に起動しない、または「MELCO LPC2-T」に!マークがついている。

原因

- ・ドライバのインストールに失敗している。

対策

次の手順に従って、ドライバを削除し、再度ドライバのインストールを行なってください。

▲注意 作業の前に本製品が PC カードスロットに確実に挿入されているか、確認してください。

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。
- 2 [コントロールパネル]内の[システム]アイコンをダブルクリックします。
- 3 [デバイスマネージャ]タブをクリックします。
[ネットワークアダプタ]の中の「MELCO LPC2-T」を選択し、[削除]をクリックします。



次頁へ続く

- ▶ [?その他のデバイス] の中に「MELCO LPC2-T」が表示されている場合は、「MELCO LPC2-T」を選択し、[削除] をクリックした後 [OK] をクリックします。



4 「今すぐ再起動しますか?」と表示されますので、[いいえ] をクリックします。

5 コントロールパネル内の「ネットワーク」アイコンをダブルクリックし、「MELCO LPC2-T」が表示されている場合は、削除してください。

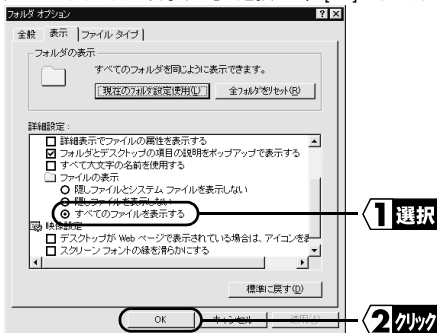
6 [OK] をクリックします。

メモ 「今すぐ再起動しますか?」と表示された場合は、「いいえ」をクリックしてください。

メモ Windows98をお使いのかたは、以下の手順を行ってください。

1. [スタート] - [プログラム] - [エクスプローラ] を選択します。
2. [表示] - [フォルダオプション] を選択して、「表示」タブをクリックします。

3. 「すべてのファイルを表示する」を選択して、[OK] をクリックします。



4. 「C:\Windows\INF\OTHER\MicrosoftNetLPC2.inf」を選択し、[削除] をクリックします。



4

困ったときは

- 7 Windows98/95を終了させ、パソコンの電源スイッチをOFFにします。

- 8 本製品を取り出します。
「32ビットPCカードドライバの確認」(P10)を参照して、PCカードドライバの確認を行い、「ドライバのインストール」(P16)を参照して、ドライバを再インストールしてください。

▶次へ▶ 「32ビットPCカードドライバの確認」(P10)へ進みます。

「ネットワークコンピュータ」をダブルクリックしても、他のコンピュータが表示されません。

「ネットワークコンピュータ」アイコンをダブルクリックしても、他のコンピュータが表示されません。また「MELCO LPC2-T」に!マークがついている。

原因

Windows98/95 を起動したときにパスワードを入力していない。

(ユーザー名 / パスワードの入力画面で [キャンセル] ボタンをクリックしたり、<Esc> キーを押している。)

対策

Windows98/95 を起動したときに要求されるユーザー名 / パスワードの入力画面では、必ず入力して [OK] ボタンをクリックしてください。万が一、パスワードを忘れてしまったときは、別のユーザー名を入力してください。ユーザー名とパスワードがコンピュータに登録されます。

原因

本製品のドライバのインストールに失敗している。

対策

ドライバが正常にインストールされているか確認してください。

Windows98/95 の場合：

「インストール後の確認」(P28) を参照してください。

原因

ネットワークを検索して、接続されているコンピュータが表示されるのに時間がかかっている。

対策

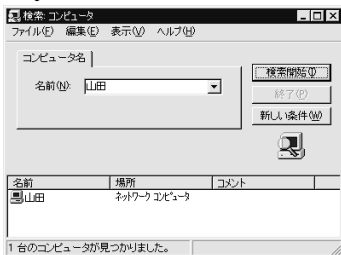
以下の手順でコンピュータの検索をしてください。

1. [スタート] - [検索] - [ほかのコンピュータ] を選択します。

2. 「名前」に、接続先のコンピュータ名を入力して、[検索開始] をクリックします。



3. 検索されたコンピュータのアイコンをダブルクリックして、接続してください。



原因

ワークグループの設定が間違っている。

対策

ワークグループの設定を確認してください。

原因

ネットワークの設定が正常にできていない。

対策

プロトコル、ワークグループ名や共有設定の確認を行ってください。

Windows98/95 の場合：

「ネットワークの設定例」(P34) を参照してください。

原因

ドライバのインストールに失敗している。

対策

「Windows98/95 環境で、本製品を装着しても、ドライバのインストール画面が自動的に起動しない」の対策を行って、もう一度ドライバのインストールをやり直してください。

原因

- ・ストレートケーブルが LAN ポード側・ハブ側ともにしっかり接続されていない。
- ・ストレートケーブルが切断している。

対策

- ・「カチッ」というまで、しっかり接続してください。
- ・別のストレートケーブルで接続してください。
- ・ハブとケーブルに問題があるのかもしれませんが、他のパソコンで正常に LAN 接続しているハブとケーブルを使用してみてください。

**SONY VAIO PCG-F16/BP および PCG-F14/BP
で使用すると、「MELCO LPC2-T」に!がつく。**

対策

以下の設定方法を参照し、I/O ポートアドレスの設定を変更してください。

<設定方法>

1. [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]を開きます。
2. [デバイスマネージャ]のタブをクリックします。
3. [ネットワークアダプタ]の中の「MELCO LPC2-T」を選択し、[プロパティ]をクリックします。
4. [リソース]のタグを開き、[自動設定]のチェックを外します。
5. I/O 範囲を変更します。

例) 変更前: 0220-023F 変更後: 0240-025F

5

用語集

本書で使われている用語の内、ネットワークを構成する上で必要となる用語について説明します。

I/O ポートアドレス (Input/Output)

CPU と周辺機器との間には、情報をやりとりする出入り口があります。どの周辺装置がどの出入り口を使うかを区別するために、各装置に割り当てられる番号が I/O ポートアドレスです。

IRQ(割り込み要求 : Interrupt Request)

パソコンの周辺機器が要求する処理は全て CPU が行いますが、CPU はどの機器からいつ要求が来るかを予想できません。CPU が常に全ての機器を監視していると、処理時間より監視時間のほうが長くなり、非効率的です。そこで、各周辺機器から、CPU に対して実行してほしいことが発生した場合に、IRQ の番号を使用して、現在 CPU が行っている処理に「割り込み」と「要求」をします。CPU は、どの装置から要求が来たかを IRQ 番号より判断し処理を行います。割り込み要求の処理が終わると、CPU は通常の処理に戻ります。

LAN(Local Area Network)

「ラン」と発音する。1つの建物の中やキャンパスの敷地内など比較的狭い地域でのネットワーク。10Mbps ~ 100Mbps の伝送速度が一般的。

MAC アドレス (Media Access Control Address)

ネットワークカードごとの固有の物理アドレス。

MAC アドレスは、先頭からの 3bytes のベンダコードと残り 3bytes のユーザコードの 6bytes で構成される。

ベンダコードは、IEEE が管理 / 割り当てを行っており、ユーザコードは、ネットワークカードの製造メーカーが独自の番号 (重複はしない) で管理を行っている。つまり、MAC アドレスは、世界中で単一の物理アドレスが割り当てられることになる。Ethernet ではこのアドレスを元にしてフレームの送受信を行っている。

Microsoft ネットワーククライアント

Windows98/95/NT4.0 などのサーバサービスを利用するためのクライアントソフトウェア。通常プロトコルには、「NetBEUI」が使用される。

NetBEUI プロトコル

小規模から中規模の LAN 用のネットワークトランスポートプロトコルである。NetBEUI は、OSI プロトコルモデルのトランスポートおよびネットワーク層プロトコルに相当する。これを NetBIOS と統合することにより、ワークグループ LAN 環境で効率的な通信システムが実現される。Windows98/95/NT4.0 などで、サポートされている。

Peer to Peer 接続

パソコンが、LAN や WAN を介して互いに対等な関係で行う通信。サーバ・クライアントシステムとは異なり、ネットワーク上のいずれのパソコンも他のユーザーにその資源を利用可能にすることができる。無線 LAN では、アクセスポイントを介さずに無線 LAN カード同士で直接通信を行なうこと。

Windows98/95 のユーザー名とパスワード

ドライバのインストールが完了し、パソコンを再起動すると、『ネットワークのインストール』ダイアログボックスが表示されます。

- ・ ネットワークを使用するときは、ユーザー名とパスワードを入力してください。ただし、ネットワークを使用しないときは入力する必要はありません。
- ・ ユーザー名とパスワードは、Windows98/95 をセットアップする過程で設定しています。初めてログインするときは、セットアップ時のユーザー名とパスワードを入力してください。（マルチユーザーで複数の環境を切り替えてパソコンを使用できるようになっています。よって、新たにユーザー名とパスワードを入力することにより、ログインできます。）

Windows98/95 の共有設定画面

共有したいドライブのアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、メニューから「共有」を選択すると、次の画面が表示されます。



画面内の説明は、次の通りです。

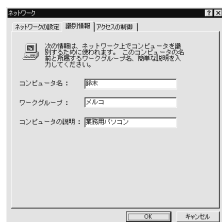
- 共有しない：** ドライブの共有を解除するときに選択します。
- 共有する：** ドライブを共有するときに選択します。
- 共有名：** 共有するドライブの名称を変更できます。
- アクセスの種類：** 共有するドライブに対しての読み書きを許可します。
- 読み取り専用：** 共有するドライブを読み込み専用にします。
- フルアクセス：** 共有するドライブに読み書きを許可します。
- パスワードで区別：** パスワードにより、読み書きを許可します。
- パスワード：** 「アクセスの種類」に対するパスワードです。
- 読み取り専用：** 読み取りを許可するときのパスワードを設定します。
- フルアクセス：** 読み書きを許可するときのパスワードを設定します。

Windows98 の識別情報 (Windows95 の場合はユーザー情報) 画面

表示される画面

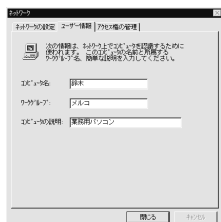
Windows98 の場合

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「識別情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



Windows95 の場合

「ネットワーク」アイコンをダブルクリックして、「ユーザー情報」タブをクリックすると、次の画面が表示されます。



画面内の説明

画面内の説明は、次の通りです。

- コンピュータ名:** ネットワーク上で、コンピュータを識別するための名称です。各パソコン毎に固有の名称を設定します。
- ワークグループ:** ネットワーク上で、分けをするための名称です。特に分ける必要がなければ、ネットワーク内のパソコンは、全て同一の名称にしてください。
- コンピュータの説明:** 「コンピュータ名」の補足説明です。特に入力しなくても構いません。

クライアント

サービスの提供を受ける側。サーバにある情報やサービスを利用することができる。

プロトコル

ネットワーク端末間でデータの受け渡しを行うための手順や規則。
例えば、2つのコンピュータが通信を行う場合に、どちらが先にどのようなメッセージを送信するか、また、そのメッセージを受けてどのようなメッセージを返すか、データの形式はどうなっているか、通信エラーの対応など、通信を行う上で必要な条件をすべて手順化しておくことで、規則正しい情報の伝達を行うことができる。

リソース (システムリソース)

パソコンの各周辺装置 (マウス、キ - ボードなど) や、LAN ボード、LAN カードなどに割り当てられている IRQ、I/O ポートアドレスを総称した名称。

6

付 録

本製品の仕様とモジュラコネクタ仕様について説明します。

製品仕様

LAN インターフェイス	規格	IEEE802.3 準拠
	伝送速度	10Mbps
	伝送路 符号化方式	マンチェスターコーディング
	アクセス方式	CSMA/CD
ホスト インターフェイス		JEIDA4.2 PCMCIA2.1
メディアカブラ		RJ-45 モジュラジャック
リソース	I/O ポート アドレス	220, 240, 280, 2A0, 2C0, 300, 320, 340 のいずれか (出荷時設定: 240) PC-9821 シリーズで NetWare を使用するとき n0D0h ~ n0DFh, n1DFh(n は 0 ~ 7 のいずれか)
	割り込み	IRQ3, 4, 5, 6, 9, 10, 11, 12, 15 のいずれか (出荷時設定: IRQ10)
消費電流		145mA
電圧		5V
消費電力		725mW
動作環境	動作温度	0 ~ 55
	動作湿度	20 ~ 80%(但し、結露なきこと)
外形寸法		54(W)mm × 85(D)mm × 5(H)mm (PCMCIA TYPE 準拠)

Windows98/95 の場合、OS が自動的にリソースを割り振り、上記以外の値で動作する場合があります。

最新の情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ (<http://www.melcoinc.co.jp/>) を参照してください。

ランプ仕様

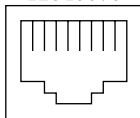
LINK ランプ	リンクステータス リンク時点灯
TX/RX ランプ	動作ステータス データ送受信時点灯 (他のパソコン通信時も点灯)

モジュラコネクタ仕様

ISO/IEC8877:1992 で規定された RJ-45 型 8 極コネクタを使用しています。

MDI 信号の割り当て

12345678



ピン番号	MDI 信号	信号機能
1	TD+	送信データ (+)
2	TD-	送信データ (-)
3	RD+	受信データ (+)
4	(Not Use)	未使用
5	(Not Use)	未使用
6	RD-	受信データ (-)
7	(Not Use)	未使用
8	(Not Use)	未使用

MEMO

保証書について

本製品付属の保証書には保証期間と保証規定が記載されています。内容をお確かめになり、大切に保管してください。

ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要な事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとしてご登録いたします。

本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方であれば受けられます。

ユーザー登録後に製品を譲渡した場合でも、ユーザー登録は変更できません。

修理について

故障と思われる症状が発生したときは、まずマニュアルを参照して設定や接続が正しいか確認してください。改善されない場合は、次の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付し、弊社修理センター宛に製品を直接お送りください。

ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは、承っておりません。

宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断りいたします。

送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社はかかる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。

ハードディスクをお送りいただいた場合、そのハードディスクはフォーマットいたします。必要なデータは事前にバックアップを作成しておいてください。

修理期間は、製品の到着後7日程度（弊社営業日数）を予定しております。

製品送付先： 〒456-0023 名古屋市熱田区六野二丁目1-3中京倉庫内33号6階
株式会社メルコ 修理センター宛
TEL:052-889-2104

チェック項目： 返送先 [氏名 / 住所 / 電話番号 (内線) / FAX 番号]
平日昼間の連絡先 [氏名 / 住所 / 電話番号 (内線) / FAX 番号]
修理対象のメルコ製品名
弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
具体的な症状 / エラーメッセージ
発生状況 [始めから / ある日突然 / 環境を変えたら]
発生頻度 [必ず / 頻繁 / 時々 / 時間が経つと、他]
コンピュータ [本体メーカー名 / 型番 / シリアルナンバー]
ハードディスク [メーカー名 / 型番 / シリアルナンバー]
プリンタ [メーカー名 / 型番 / シリアルナンバー]
その他周辺機器 [メーカー名 / 型番 / シリアルナンバー]
OS(オペレーティング・システム) [ソフト名 / メーカー名 / バージョン]
アプリケーション / バージョン [症状に依存性のある場合は詳細も]
製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

弊社製品の情報は次の方法で入手できます



インター
ネット

<http://www.melcoinc.co.jp/>
(ミラーサーバ <http://www.melcoinc.com/>)



MELCO Station < GO SMELCO >

NIFTY
SERVE



FAX 情報

052-614-6911

情報を受け取りたいFAXの電話でダイヤルし、音声案内に従って操作してください。
トーン信号(ビボバ音)の出るFAXを使用してください。



製品
サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

<東京> 03-5350-7870
<名古屋> 052-619-1825

月～金 9:30～12:00/13:00～17:00 祝日を除く

事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。

- ・コンピュータ名と使用OS
- ・設定内容(スイッチ設定など)
- ・本製品の製品名とシリアルナンバー
- ・現象(具体的なエラーメッセージなど)

メルコパソコン教室

「DOS/Vパソコン組み立て体験教室」などを主催する株式会社メルコテクノスクールでは、ネットワーク関連の各種研修も実施しております。出張社員研修なども実施しておりますので、お気軽にご相談ください。

- ・インターネット接続設定教室
- ・小規模LAN構築実践体験教室
- ・LANケーブルリング実践体験教室
- ・LAN/WAN構築実践体験教室
- ・光ファイバケーブルリング実践体験教室

このほかにも、随時新規カリキュラムを開講中です。お申し込み、お問い合わせは、以下へお願いします。

TEL: 052-251-7911 FAX: 052-249-2460

パソコン教室に関する最新情報は、次の方法でも入手することができます。

- ・インターネット..... <http://www.melcoinc.co.jp/>
(ミラーサーバ <http://www.melcoinc.com/>)
- ・NIFTY SERVE..... MELCO Station <GO SMELCO>
- ・FAX 情報..... 052-614-6911(BOX No.0803)